

トーキョーN◎VA the Detonation

シナリオプロット

DtoX

シナリオ執筆:ばらでいん

『トーキョーN◎VA the Detonation』は有限会社ファースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。

シナリオプロット: DtoX

先 天 的 後 天 的

高度な電腦化は、アプリオリな直観とアポストエリオリな経験の境界を限りなく曖昧にする。

ウェブに接続された世代の君たちは“正解”をその集合知に求めることができるだろう。

だが、その“正解”が“正解”たる根拠は？ そんなときだけ素朴にアプリオリな直観を信じるのかね？

ところで、今期の単位認定レポートは随分と同じテーマに取り組んだものが多かったな。

——新星帝都大学教授、桂令雄

プレアクト

■シナリオデータ

プレイヤー:3~4人

プレイ時間:4~5時間

■ストーリー

テラウェアは第四世代 IANUS 用のパディ“ランタン”を発表し、一般向けのベータテストを開始する。だが、ランタンは真教浄化派が超 AI、ガンマを利用して進めている IANUS 経由で人類に道徳規範を植えつける計画、プロジェクト・アレテーのためのバックドアが仕掛けられていた。

ランタンのベータテストとともに始動したブ

良 識

プロジェクト・アレテーは“ボン・サンス”というヒーローを生み出し、“黄金の蜘蛛”がプログラムした道徳規範を人々に感染させていく。

一方、軌道千早は IANUS の世代交代を機にその利権を地上千早から奪うべく、エージェントの美門一清を派遣。超 AI デルタを追う日本軍

と共に、IANUS の規格を策定する団体である MMIC の幹部とトロンの確保に動いていた。

失踪した友人を追う『ニューロ』、MMIC を襲った事件を内偵する『クグツ』、真教浄化派の能天使“ブラック・クロス”を追う『イヌ』、“ボン・サンス”の謎に迫る『トーキー』はプロジェクト・アレテーの謎に迫り、真教浄化派、そして日本軍を味方につけた軌道千早と対決することになる。

キャストたちがプロジェクト・アレテーに審判を与え、軌道千早と日本軍の脅威から逃れればアクトは終了する。

■アクトトレーラー

バルマコン
爆轟により世界へ落とされた一滴のしずく。
そこから生まれたのは無数の意志。
意志は伝染し、世界を変える。

世界も変わるため意志を定義して加速する。
その定義をまた書き換え、さらなる速度を得るために。

バルマコン
加速のための加速に乗り、しずくは殖える。
はたしてそれは、毒となるか薬となるか。

トーキョー N◎VA the Detonation
『DtoX』
爆轟を超えて加速し、運命の扉をこじ開ける！

■キャスト作成

ハンドアウトをコピーして切り離し、プレイヤーに配布すること。

●推奨スタイル

- 1.ニューロ:ハッカー
- 2.クグツ:千早重工後方処理課3班
- 3.イヌ:ブラックハウンド機動捜査課
- 4.トーキー:ジャーナリスト

●必要な防御神業

本シナリオでは、キャストが神業だけで死亡するのを防ぐために、最低でも2個の防御系神業が必要だ。

また、『真実』『完全偽装』『電脳神』など、情報を操作する神業は有効に機能する。

■キャスト間コネクション

以下の順に取得すること。

『ニューロ』→『クグツ』→『イヌ』→『トーキー』→『ニューロ』

<h3>シナリオハンドアウト</h3> <p>キャストには以下の設定がつく。セッション前にプレイヤーとよく相談すること。</p> <p>『ニューロ』:宮脇ハルカという友人がいる 『クグツ』:千早重工後方処理課3班 『イヌ』:ブラックハウンド機動捜査課 『トーキー』:ジャーナリスト</p>	<h3>推奨スタイル:ニューロ</h3> <p>コネ:宮脇ハルカ 推奨スト:感情 あなたの知り合いに、宮脇ハルカという若い衆がいた。ウィザード級のニューロで、何度かビズをこなしたこともある。彼女は数日前に発売前の新世代 IANUS を入手して早速ハックすると意気込んでいたが、IANUS のアップデート直後に連絡を絶った。そして今日、あなたは彼女が宅配便で送った IANUS のハードウェアを入手した。 PS:宮脇ハルカの行方を追う</p>
<h3>推奨スタイル:クグツ</h3> <p>コネ:小上紫乃 推奨スト:感情 千早重工後方処理課のあなたに命じられたのは、つい先頃ブラックハウンドに摘発された団体、MMIC の内偵である。ここはすべてのサイバウェアのプラットフォームたる IANUS の規格を策定する団体で、千早からもかなりの資金と人材が投資されている。新世代 IANUS のリリースも近い今、余計なトラブルは未然に防がれるべきだ。 PS:MMIC 摘発事件を適切に処理する</p>	<h3>推奨スタイル:イヌ</h3> <p>コネ:"ブラック・クロス" 推奨スト:理性 あなたはリニアの駅で発生した真教浄化派のテロ鎮圧に急行していた。銃を振り回す暴漢。混乱する通行人。振り払われる警備ドロイド。リアルタイムで惨状が伝えられる。しかし、現場では民間の有志が協力し、あなたの到着前に犯人は拘束された。落ち着きつつある現場に到着したあなたとすれ違ったのは、ある意味見慣れた顔の男だった。 PS:"ブラック・クロス"を追う</p>
<h3>推奨スタイル:トーキー</h3> <p>コネ:"ボン・サンス" 推奨スト:外界 あなたが現在追っているのは最近売り出し中のクライムファイター、"ボン・サンス"である。警察より早く事件現場に駆けつけて制圧するヒーローだが、誰も姿を見たこともないし、正体も知らない。そんなある日、あなたにチャンスが巡ってきた。リニアの駅で発生したテロの現場に、"ボン・サンス"が現われたらしいのだ。 PS:"ボン・サンス"の正体を調査する</p>	

オープニングフェイズ

●AXLERATION

ルーラーシーン。第四世代 IANUS の発表会見でウィリアム・多聞が登場し、新しいパディシステム“ランタン”を紹介する。

▼セリフ:ウィリアム・多聞

「第四世代 IANUS にテラウェアが提案する新しいパディ。それが“ランタン”です」

「キーワードは“加速”。ランタンはニューロエイジをさらに加速することでしょう」

「IANUS の強化現実機能はより自然に、思考、電腦、そしてウェブを融合させます」

「そう、たとえば……(プレス席に向かう)」

「あなたは CNN のテラウェア取材班、ミスタ・ヤマダですね？ 好物は、スシ」

「私がミスタ・ヤマダを目にしたときの脳波をランタンがスキャンし、情報をウェブで検索し、SNS の公開プロフィールをあたかも私の記憶であるかのように提示したのです」

「思考スピードのウェブ体験で、あなたの人生の物語はより加速すると約束しましょう」

「そして既に発表している通り、ランタンはフリーで公開することが決定しています」

「そして、最後にもうひとつ。今日、この瞬間からベータテストを開始します！」

・ IANUS のベータテスト
サポートショップで新しいチップを埋め込み、ナノマシンを注射するだけで終わる。

●ニューロ

「●AXLERATION」から数日後、ニューロのもとに宮脇ハルカから連絡が入るシーン。

ハルカは裏ルートで第四世代 IANUS のベータキットを入手し、それをいつも世話になっている『ニューロ』にも送ったと話し、自らもインストールすると言い残してアウトロンする。

その日を境にハルカとは連絡が取れなくなり、今日、ニューロのもとに運送業者が第四世代 IANUS のベータキットを届けてくる。

『ニューロ』がハルカの捜索に乗り出したらシーン終了。

●イヌ

真教浄化派のテロを鎮圧に向かうシーン。

現場に急行する『イヌ』のもとにはテロリストが銃を乱射してリニアの駅が混乱に陥るさまが中継される。それは数十秒続くが、誰かが消

・ IANUS のベータキット
肉体に埋め込むチップとナノマシンを注入するための注射器などがセットになって無地の化粧箱に入っている。
これをインストールしたキャストは難易度 10 までの情報収集判定をオートアクションで自動成功にできる。

・ 学生
新星帝都大学柔道部の学生である。学ランに学帽のバンカラファッションだが、真面目な青年だ。

・ 《とどめの一撃》
暴徒制圧用のゴム弾なので重傷だが即死するような怪我ではない。

火器をテロリストに吹きつけたのをきっかけに、“ブラック・クロス”が《とどめの一撃》でテロリストを無力化する。ひるんだテロリストは学生に体当たりを仕掛けられ、取り押さえられる。

『イヌ』が到着するとテロリストの身柄は引き渡される。現場で目を引くのは、壁に書かれた「Bon Sans」の文字だ。

『イヌ』が仕事を終えた頃、“ブラック・クロス”が世界を変えることを予告する。

▼セリフ:“ブラック・クロス”黒木十字

「その程度か。災厄の都を守る日本の番犬よ」

「貴様ら、特に機動捜査課が弱者のために戦っているのは俺も理解している」

「だが、こうも思わんか？ 世界は心ある者たちの手には余る広さだとも」

「俺や貴様が奔走したところで、限界がある」

「宣戦布告だ。俺たちは世界を変える。嫌なら、止めてみせろ」

「貴様らイヌは番犬。だが、俺は血まみれの猟犬。これが俺のスタイルだ(闇に消える)」

●トーキー

『イヌ』のシーンの直後。“ボン・サンズ”の登場に沸く事件現場に『トーキー』が居合わせるシーン。

事件現場の封鎖は解除されているが、人々は口々に“ボン・サンズ”を賞賛する。その一方で、動きの遅いブラックハウンドに批判的な言葉を口にする者たちもいる。

●クゲツ

後方処理化第三班の班長、小上紫乃に呼び出され、ブラックハウンドに摘発された MMIC という団体の内情を探り、適切な処理をするよう命じられる。

MMIC の摘発については千早にも第一報が入ったレベルであり、それらの調査も含めた費用として 3 シルバー(3 報酬点)が支給される。

MMIC は千早が IANUS のシェアを支配するための牙城で、この権益は重要だ。

リサーチフェイズ

■クライマックスへの条件

テラウェアの大深度トロンルームに向かう。

●ニューロ:ハルカの行方

条件:宮脇ハルカのアドレスに向かう

イエローエリアのハンバーガーショップで夜を明かしているハルカのもとを訪れるシーン。

ハルカを混乱しているが、数日前の帰宅途中にコンビニ強盗の現場に居合わせ、ボン・サンスの助言にしたがって店内のモップで強盗の後頭部を殴りつけたこと。血まみれになった強盗を見た彼女はパニックになって逃亡したことまでを話す。

●クグツ:偽りの猟犬

条件:「MMIC 摘発事件」がすべて公開された

監視カメラの映像を調べて MMIC 摘発事件を実行した者の正体を調査するシーン。

難易度 15 の〈知覚〉か〈電脳〉判定に成功すれば、監視カメラの映像解析に成功し、MMIC に踏み込んできたブラックハウンドの隊員が全員、データベースに登録されていない顔だと気づくことができる。

判定に失敗した場合、再び判定するには 3 報酬点が必要となる。

判定に成功すれば以降のシーンで「偽ブラックハウンド」がリサーチ可能になる。

●トーキー:良識の手

条件:「ボン・サンス」がすべて公開された

近くの DAK から、“ボン・サンス”により捕縛された犯罪者が日に日に増し、その活躍は幅広い市民に賞賛されていること。一方で警察組織の支持が下落していることを告げるニュースが流れる。

●イヌ:浄化される世界

条件:「良識の手」の後

『イヌ』のもとに“ブラック・クロス”が《不可知》で現われる。彼は“ボン・サンス”の活躍を挙げ、世界が変革しつつあることを告げると去っていく。

▼セリフ:“ブラック・クロス”

「見るがいい。世界は確実にその向かう先を変えつつある」

「俺はかつてミトラスで、NOVA で、弱き者が踏みにじられるさまを見てきた。見ることしかできなかった……！」

「だが、世界は浄化される。誰もが正しき心を持つことによってな。」

「(反論する)しかし、弱者が踏みにじられる世界よりはマシだ」

●箱の中

条件:「ランタン」がすべて公開された

『ニューロ』に送られた第四世代 IANUS を解析すればランタンのブラックボックス部分が何をやっているか知ることができる。これは難易度 20 の〈電脳〉判定だが、シーンに宮脇ハルカが登場している場合、稼働中の第四世代 IANUS を解析できるので難易度は 15 となる。

成功すれば、ランタンはすべてをテラウェアのサーバで処理するのではなく、近隣の IANUS やトロンとリソースを共有し、そのクラウドで処理を行なっていることがわかる。

また、ランタンのサーバは主にリソースの割り振りや思考検索結果のデータベース化による負荷軽減を行なっている。だが、これらの機能を普通に使うだけでは発生しえないログが記録されている。このログは《電脳神》で暗号化されているため、さらなる解析が必要だ。

判定に失敗した場合、解析を試みたキャストは[攻撃力:刺+11](+カード 1 枚)のダメージを受ける。これはデジタルアクションによるものとして扱われる。

●灯火の正体

条件:「箱の中」の後

ランタンの不審なログを神業で解析すれば、ランタンが使用者の深層意識にアクセスして思考の誘導を行なっていること、そのベクトルが“他者を助ける”、“不正を正す”などの伝統的な道德観念で“正しい”とされている行為を促がすものであると判明する。

・「イヌ:浄化される世界」
“ブラック・クロス”はこのシーン、撤退することを優先する。キャストが神業で阻んだ場合、カット進行となる。
このシーンで彼が倒された場合、ウィリアム・多聞が《タイムリー》で治療する。

・クラウド
この場合、処理をひとつのサーバに集約させず、ウェブに接続した IANUS やトロンが分散してひとつの巨大なトロンのように情報を処理することを指す。

・デジタルアクション
ウェットのキャストが〈究極鑑定〉などで失敗した場合、ダメージは発生しない。
そのキャストは特技を取って見せ場を主張している。そのうえウェットなら、華を持たせようではないか。

・灯火
伝統的なタロットの隠者(ニューロデッキではクロマクに対応する)はその手にランタンを持っている。

これらの意識状態はクラウド化された IANUS での演算、また、その行動を見た者への心理的影響で“伝染”する目的も与えられたパターンである。そして、これらの情報はウェブの情報流から取得されるデータに紛れ、“ボン・サンス”からの呼びかけとして知覚されている。

▼セリフ:ボン・サンス(デルタ)

「迷える人に手を差し伸べてください。悪しき声に耳を貸してはいけません」

「あなたが立ち上がることで世界はより好ましいものになります」

「それはあなたのためでもあり、そしてあなたの隣人のためでもあります」

「救世主なき地上にも、私たちの力で神の国を到来させることはできるはずです」

「あなたは……誰？」

●軌道よりの影

条件:美門一清のセーフハウスに向かった

美門一清のセーフハウスは嚴重な警備体制で、《買取》を打ち消さないと中には入れない。

部屋の中では美門一清が MMIC の幹部を尋問している。彼はキャストに気づくと部下を呼び出し、カット進行となる。近距離にミカツチ部隊 20 人×2 が同一のエンゲージ、中距離に美門一清となる。

トループが倒された場合、美門一清は退場、トループも撤退する。

カット進行後、MMIC の幹部に話を聞けば軌道千早が第四世代 IANUS の利権を狙い、その核になるパディシステム、ランタンの接収を試みていたことを話す。

●伝染する善意

条件:『デルタ』がすべて公開された

プロジェクト・アレテーによって伝染する善

意が臨界点を突破し、伝染速度が爆発的に上昇し始める。

イエローエリアのステーキハウスに SSS のパトカーが停まっており、返り血を浴びたクグツが連行されている。彼は“ボン・サンス”に協力して非合法な人体実験を強要してきた上司を説得しようとしたが、もみ合いになってナイフで刺してしまったと供述し、連行されている。

パトカーが発車すると近くのコンビニに強盗が入るが、その後から市民が暴徒のようになだれ込み、強盗を撲殺してしまう。

●Carnival

条件:「感染する善意」の後

「伝染する善意」と似た事件は同時多発的に N◎VA の各所で起きている。『イヌ』のもとに千早冴子から連絡が入り、既にブラックハウンドが出動し、N◎VA 軍の出動も視野に入れられていると告げられる。

プロジェクト・アレテーが停止しなかった場合、人を助ける、正しいことをするなど“善意”のもと暴力の渦は際限なく拡大し、N◎VA 軍の介入から始まる大規模な武力衝突を招く。

テラウェア機密ラボのアドレスは《電脳神》などの神業で知ることができる。その場所はテラウェアアアコロジの大深度に置かれた、本来存在しないはずのトロンルームだ。

「●軌道よりの影」で MMIC の幹部を助けている場合、神業を使わずに彼らからトロンルームの場所を聞くことができる。

■情報

●情報深度 1

以下はリサーチフェイズ開始時に調査できる情報である。

- ・宮脇ハルカ(『ニューロ』)
- ・第四世代 IANUS(『ニューロ』)
- ・MMIC 摘発事件(『クグツ』)
- ・MMIC(『クグツ』)
- ・“ブラック・クロス”黒木十字(『イヌ』)
- ・“ボン・サンス”(『イヌ』、『トーキー』)

◆宮脇ハルカ

〈社会:ウェブ、ストリート〉

12 斑鳩に住む高校生。両親はともにメガコーポのクグツで、幼い頃からトロンに触れていたニューロ。最近では第四世代 IANUS に

・軌道よりの陰

ここで美門一清が倒された場合、舞台裏で《天罰》を使用して復活する。

・バルマコン

キャストが MMIC の幹部と接触しない(そういうスタイルのキャストはいるだろうし、思いつかない場合もあるだろう)場合、匿名のメールでアドレスが提供される。

MMIC にとって IANUS 関係のスクandalはできるだけ表沙汰にしたいくないし、機動や日本軍といった敷を自らつつきに行く気もないのだ。

宮脇ハルカ

▼スタイル

ニューロ(エキストラ)

▼設定

「肉体もアヴァターだし演出は必要さ」

『ニューロ』と何度かピズをしたこともあるニューロキッズ。

両親はともにとあるメガコーポのクグツで、幼い頃からトロンとウェブで退屈を紛らわしていた。

現実世界では斑鳩に住み、高校に通っている。現実ではセーラー服に身を包んでいるが性別不明。

興味を持っていた。

- 15 数日前、帰宅途中に“ボン・サンス”が登場したコンビニ強盗の現場に居合わせた。それ以降、ファストフード店やコフィンを転々としている。アドレスを入手。
→キーワード「ボン・サンス」
→イベント「ハルカの行方」
- 18 強盗は SSS の現場到着前に“ボン・サンス”から店内の清掃用具で撲殺されている。強盗は武装した X ランク市民だったため、正当防衛が認められる方向。

◆第四世代 IANUS

〈社会:企業、テクノロジー〉

- 10 IANUS に予定されている強化現実標準対応し、現実体と電腦、そしてウェブをシームレスに扱えるのが目玉のアップデート。使用者はフリップ・フロップに近い状態を手に入れる。
- 12 膨大な情報流から必要なものを取捨選択するなど、ウェブ処理機能を強化した新ハディ“ランタン”はテラウェアが技術提供を行なっている。
→キーワード「ランタン」
- 15 現在は一般参加者によるベータテスト中だが、既に解析を始めたニューロやタタラも多い。その中でも宮脇ハルカというニューロを中心にしたグループはブラックボックスの解析に手をつけようとしていたようだ。
→キーワード「宮脇ハルカ」

◆MMIC 摘発事件

〈社会:企業、警察、メディア〉

- 12 IANUS の標準規格を策定している MMIC に不正な資金の流れがあるとして、ブラックハウンドが摘発を行なった。現在も幹部がブラックハウンドに拘留されている。
- 15 証拠隠滅を防ぐ名目で関連各所のトロンも差し押さえられた。MMIC からの公式な声明はない、第四世代 IANUS の開発にも遅れが出るとみて、市場では関連銘柄が下落している。
- 18 ブラックハウンドの施設に MMIC の幹部が収容された形跡はない。摘発そのものが偽装工作の可能性がある。警備カメラの映像や幹部のウェブアドレスを探れば何かわかるかもしれない。
→キーワード「偽りの猟犬」

◆MMIC

〈社会:ウェブ、企業〉

- 12 Mind-Machine Interface Consosiam の略称。サイバーウェア統一基準協会(ICUC)の下部組織で、IANUS の標準規格を策定し OS を配布している。通称ミミック。数年前、互換型の第三世代 IANUS を追認する形で千早が設立した。
- 12 第四世代 IANUS の開発が始まってからは ICUC 経由で複数のメガコーポが資本、人材を投入している。
→キーワード「第四世代 IANUS」
- 15 フリーな標準規格を謳っているが、その実必須ファイルの一部がブラックボックスになっている、互換性審査は有料である上に密室で行なわれるなど、一部のタタラやニューロからの評判は良くない。

◆“ブラック・クロス”

〈社会:警察、ストリート、メディア〉

〈コネ:ブラック・クロス〉

- 13 “ブラック・クロス”のハンドルで知られる真教浄化派の能天使。浄化派の中でも個人戦闘力では最強の一角。
- 15 最近では N◎VA でその姿を目撃されているが、浄化派の構成員にも刃を向けた。日系企業や日本軍を敵視する一方で独自の美学を持つ男だが、かつてない事態だ。
- 18 彼は現在“黄金の蜘蛛”に個人的な賛意を示し、その活動に手を貸している。
→キーワード「“黄金の蜘蛛”」

・“ブラック・クロス”

彼は偏ってはいるがニューロエイジには珍しく極めて強固な倫理規範を持ち、その遵守を己に課している。ある意味、ウィリアム・多聞が目指す“神の国”にふさわしい人物なのだ。

◆ボン・サンス

〈社会:ウェブ、警察、メディア〉

- 12 最近現われたクライムファイター。ちんぴらから真教浄化派のようなテロまで、あらゆる犯罪と戦っている。事件現場に“Bon Sens”とサインが残っていることから、ボン・サンスと呼ばれている。Bon Sensとはフランス語で良識の意。
- 15 事件を警察よりも早く察知し、現場に駆けつけ、居合わせた市民たちの協力を得て制圧する。しかし、倒された犯罪者はおるか協力者、目撃者までもがボン・サンスの容姿について明確な証言をできていない。
- 18 ボン・サンスの協力者として活躍した人物の個人情報、警察機関によってデータが保存されている。彼らのプロフィールはバラバラだが、ほとんどの現場で第四世代 IANUS の被験者がひとは確認されている。
→キーワード「第四世代 IANUS」
→イベント「良識の手」

●情報深度 2

以下は情報深度 1 の情報を調べることで、そこから派生するイベントを経ることで調査可能になる情報だ。

- ・ランタン(「第四世代 IANUS」)
- ・偽ブラックハウンド(「偽りの猟犬」)
- ・“黄金の蜘蛛”(『“ブラック・クロス”』)

◆ランタン

〈社会:ウェブ、企業、メディア〉

- 10 テラウェアが開発した第四世代 IANUS のパディ。開発チーフはウィリアム・多聞。
→キーワード「ウィリアム・多聞」
- 12 思考モニタリングによる検索エージェントなどにより、使用者へごく自然に、思考の一部であるかのようにウェブの情報をフィードバックするのが目玉。
- 15 MMIC の審査をパスした IANUS に無料開放される予定。一般層まで広がった訴訟や買収で技術を囲い込むテラウェアのマイナスイメージを払拭するのにも一役買った。
- 18 IANUS の処理系では負担が大きいため大部分はサーバで処理されると発表されており、サーバのソースは公開されていない。そのため、ブラックボックス化の進行や個人情報の漏洩を懸念する意見も多い。

・プロジェクト・アレター
アレターとはギリシア語で良心や徳といった意味である。

→イベント「箱の中」

◆偽ブラックハウンド

〈社会:警察、ストリート〉

- 12 制服は偽物で、動きもイヌというよりは隠密行動の訓練を受けたカゲのものだ。
- 15 彼らを指揮しているスーツの男は、軌道千早のエージェント、美門一清である。
→キーワード「美門一清」

◆“黄金の蜘蛛”

〈社会:警察、ストリート、メディア〉

〈コネ:ウィリアム・多聞〉

- 12 真教浄化派の能天使。時に反目しがちな能天使たちの間にも多大な影響力を持ち、大規模な組織として動かしている実力者。
- 15 資金、物資の提供が主な活動だが、現在は自らが主導して“プロジェクト・アレター”を進めている。
→キーワード「プロジェクト・アレター」
- 18 プロジェクト・アレターの目的は世界を“加速”させることらしいが、詳細は不明。同じ能天使の“ブラック・クロス”がそれに共鳴して手を貸している。
- 21 正体はテラウェア CEO、ウィリアム・多聞である。
→キーワード「ウィリアム・多聞」

●情報深度 3

以下は情報深度 2 の情報を調べることで、そこから派生するイベントを経ることで調査可能になる情報だ。

- ・ウィリアム・多聞
(「ランタン」「黄金の蜘蛛」)
- ・プロジェクト・アレター(「黄金の蜘蛛」)
- ・美門一清(「偽ブラックハウンド」)

◆ウィリアム・多聞

〈社会:ウェブ、企業、メディア〉

- 10 テラウェアの CEO にして天才的技術者、個人資産世界一位の大富豪にして篤志家。
- 12 現在は自らが開発チームを率いて第四世代型 IANUS のパディ、ランタンの開発に携わっている。
- 15 ランタンの開発は専用ラボで行なわれており、アドレスは極秘事項である。
- 18 MMIC 摘発事件以後も第四世代 IANUS の

ベータテストは続行しているため、ランタンのサーバと開発ラボは差し押さえられていないはずだ。

- 21 真教浄化派の能天使“黄金の蜘蛛”としての顔も持つ。通常は資金面で浄化派を援助しているが、現在は本人が動いている。

◆プロジェクト・アレテー

〈社会:ウェブ、ストリート〉

- 16 真教浄化派“黄金の蜘蛛”が主導している計画。道徳規範を人類に与え、真教が理想とする神の国へ向かって世界を“加速”させることが目的。
- 18 計画には能天使の“ブラック・クロス”が支援を行なっている。ほか、テラウェアのAI、デルタが投入されている。
→キーワード「デルタ」
- 20 既に計画は実行段階に入り、第四世代IANUSのベータテストからテストベッドが選ばれている。

◆美門一清(みかど・かずきよ)

〈社会:企業、軌道〉

- 15 軌道千早のエグゼク。美門家の出身で、生粋の天上人。新世代IANUSの利権を軌道が掌握するためにN◎VAに遣わされた。
- 18 地上ではN◎VA軍伏雷部隊の中尉、釣島誠と頻りに接触している。
→キーワード「釣島誠」
- 21 彼は常に伏兵を準備して不意の状況にも彼らの援護で対処するが、計算しておけば問題ない。〈運命の輪〉が使用不能になる。

●情報深度 4

以下は情報深度3の情報を調べることで、そこから派生するイベントを経ることで調査可能になる情報だ。

- デルタ(「プロジェクト・アレテー」)
- 釣島誠(「美門一清」)

◆デルタ

〈電腦〉 〈社会:ウェブ、企業〉

- 12 テラウェアのAI。CEO直属の機密セクションに所属している。現在はランタン開発チームに動員されている。
- 18 オメガ・プロジェクトによって誕生した26体の超AIの1体。補機としての行動支

援個体。スタイルはカゲムシャ。

- 20 IANUSをモニタリングして思考の解析、誘導を行なうような演算は得意中の得意分野で、“ボン・サンス”の正体もこの超AIだとすれば納得できる。また、テラウェアの技術力とデルタの演算能力があれば、第四世代IANUSが本格運用されてもウェブを介してそれらを掌握できるだろう。
- 21 IANUSのセキュリティレベルを上げておけば、時間稼ぎ程度だが侵食を防げる〈ツェノンの逆理〉が使用不能になる。

◆釣島誠(つるしま・まこと)

〈社会:軍事、日本〉

- 15 N◎VA軍伏雷部隊に所属する中尉。あらゆるゴーストをその拳で叩きのめす意識体戦のスペシャリスト。
- 18 現在は本土よりの特命で超AIの1体、デルタの捕獲作戦を実行している。軌道千早も作戦に協力し、美門一清を派遣した。
- 21 最初の突撃をかわされても、古武術由来の独特な歩法で間合いを詰めて一瞬の間隙から攻撃を放つ。情報がなければ対処できないだろう。〈羅刹〉が使用不能になる。

クライマックスフェイズ

●汝が見捨つる民のため、我再び十字架にかけられん

テラウェアの大深度トンネルームは極地のように白一色で、凍えるような寒さが支配している。そして超AIデルタのギガトロンを前にウィリアム・多聞と“ブラック・クロス”が待ち構えている。カット進行となるが、ウィリアム・多聞、“ブラック・クロス”のいずれもキャストによる説得を受け入れる可能性がある。精神戦の説得オプション(『TND』P127)を参考せよ。

キャストはひとつのエンゲージ。近距離に“ブラック・クロス”(『NTW』P71)、中距離にウィリアム・多聞とデルタがひとつのエンゲージに存在する。

ウィリアム・多聞が説得されれば、残るゲストは戦闘を停止する。ウィリアム・多聞が倒された場合、彼らは最後まで戦う。

ウィリアム・多聞の《タイムリー》を打ち消す(彼が説得された場合、自主的に停止させる)、あるいはデルタを破壊すればプロジェクト・アレターは停止し、N◎VAの混乱は収束へ向かう。

▼セリフ:ウィリアム・多聞

「伝染係数を0.25までダウン。条件付けも再考の余地あり、リポジトリにコミット」

「……やはりオープンテストは重要だな、クローズドな環境では見えない要素が出てくる」

「(キャストに気づく)来たか。君たちもこのプロジェクトが何かは理解しているだろう」

「私は信じている。昨日よりも今日、今日よりも明日がより良くなることを。そして、人はいつか幸福な神の国をこの地上に実現させる」

「第四世代IANUSとランタンはそれを加速させる。現在の状況は過渡的な混乱にすぎない」

「私は公正に倫理規範を制定した。既存の思想や宗教を踏まえた最大公約数だ。そのどこが不満なのかね?(カット進行へ)」

「(倒される)救世主よ、私はどこで道を誤ったというのですか?」

「(説得される)なるほど。君たちの言うことはもっともだ。この計画は破棄しよう」

▼セリフ:“ブラック・クロス”

「来たか。もはや語るべきは刃でのみ」

「(倒される)俺にはふさわしい末路だ、悔いはないさ」

「(説得される)ここは貴様らに世界の行く末を預けるとしよう」

●DtoX α

「汝が見捨つる民のため、我再び十字架にかけられん」の直後。静寂を取り戻したギガトロンルームに美門一清と釣島誠が現われる。目的は超AIデルタの回収と、事情を知りすぎたキャストの抹殺である。彼らは説得されることも撤退することもない。

致死ダメージを受けた場合、美門一清は《守護神》でデルタを捕獲して日本へ送還する。

▼セリフ:美門一清

「さて、面倒事は終わったそうですね。待ちくたびれましたよ」

「IANUSの権利を握るのは千早。だが、それは天上にこそふさわしい。おとなしく貢ぎ物を捧げればよいものを、千早重工の社長が強情を張るからいけないのですよ(カット進行へ)」

「(倒される)わ、私の再生能力を凌駕した? しかし、この超AIさえあれば美門家が次世代の覇権を握ることができる!」

▼セリフ:釣島誠

「超AIデルタは回収させてもらう。元はといえば日本のものだ。アレターとか言ったか。こいつもなかなか使えそうな技術だ」

「(倒される)俺のゴーストが、碎かれるとは。ざまあねえ……」

●DtoX β

「汝が見捨つる民のため、我再び十字架にかけられん」の直後。デルタのアドレスを美門一清たちの神業から守りきった場合、地上に出てきたキャストが刺客に襲撃される。

▼セリフ:美門一清

「さて、それでは今回の事件の顛末を記録した君たちの脳を回収しましょう。軍のほうも今回はそれでいいでしょう?(カット進行へ)」

▼セリフ:釣島誠

「超AIの回収はならなかったが、まあいい。貴様らのゴーストに答えてもらうことにするか」

・DtoX α/β

配置はキャストはひとつのエンゲージ、近距離に釣島誠およびミカヅチ部隊(『GXD』P142)20人×2グループがそれぞれ別のエンゲージ、中距離に美門一清がひとつのエンゲージとなる。

●「軌道よりの影」でグループを倒していない場合、それに加えてミカヅチ部隊20人×2グループを近距離に配置すること。

・DtoXの分岐

「汝が見捨つる民のため、我再び十字架にかけられん」の終了時までにデルタのアドレスを神業で再び隠さなければ、美門一清たちはトンネルームに乗り込み「DtoX α」のイベントとなる。

デルタのアドレスを神業で隠した場合、美門一清が《天罰》、釣島誠が《完全偽装》を使用してアドレスを得ようと試みる。これを阻止した場合、「DtoX β」のイベントとなる。

リサーチフェイズで美門一清が倒されている場合、彼は《天罰》を自分に使って復活する。

エンディングフェイズ

●トーキー

“ボン・サンス”の正体、真教浄化派のプロ
ジェクト・アレター、軌道千早と日本軍の癒着
など、《暴露》に値する情報は数多くある。

そして、『トーキー』の声に乗った情報は世
界を伝い、良かれ悪しかれ世界は加速する。

●クグツ

MMICを偽ブラックハウンドによる摘発前の
状態に戻せば、地上千早の権益は守られる。

『クグツ』が小上紫乃に報告すると、そこでテ
ラウェアのCEO、ウィリアム・多間が急逝した
ニュースを知らされる。

・ウィリアム・多間の死
クライマックスでの生死に
関わらず、テラウェア CEO
としての彼は N◎VA から“退
場”する。これが何を意味す
るかはまた別のアクトで語ら
れることになるだろう。

●イヌ

プロジェクト・アレターを停止させた場合、
ブラックハウンドにより事態は収束し、N◎VA
軍の介入は防がれる。

『イヌ』は千早冴子からねぎらいの言葉をか
けられるが、彼女が機動捜査課を離れることにな
ったことも告げられる。

●ニューロ

『ニューロ』がイントロンすると宮脇ハルカ
と、(クライマックスで開放されていれば)デル
タが現われ、本当にオープンな IANUS を作る
プロジェクトに参加しないか声をかけてくる。

“黄金の蜘蛛”ウィリアム・多聞

▼スタイル

タタラ=タタラ●、エグゼク◎

▼能力値

理性:11/23 感情:3/21

生命:3/15 外界:12/24

▼技能

交渉 3♠♣♥♦
 自我 4♠♣♥♦
 製作:プログラム 12♠♣♥♦
 知覚 3♠♣♥♦
 電腦 4♠♣♥♦
 超スピード作業 4♠♣♥♦
 超テク 4♠♣♥♦
 ※プレコーション 2♠♣♥♦
 フリップ・フロップ 4♠♣♥♦

▼ブランチ

タタラ:マイスター 2

▼ワークス

テラウェア

▼防具

・ツインシグナル 電制:21

1シーンに10点までの肉体ダメージを吸収

合計:防(殴/刺/斬/爆):6/4/5/6

▼サイバーウェア

・ニューワールド 電制:15

〈フリップ・フロップ〉4レベル

を取得

▼トロン

・アーシアンII 電制:18

タップ

・パディリンク

自分のプロットで相手に判定させる

▼解説

「加速する世界は止められない」
テラウェアのCEOにして、プロ

ジェクト・アレテーを推進する真
教浄化派の能天使。技能について

は『TND』P64も参照せよ。

《タイムリー》と《買収》は使
用済み。残りの《タイムリー》は

防衛的に使用する。

▼行動指針

推奨プロット:♠♣♥♦

シーンにはフリップ・フロップ
で登場する。基本的にパディリン

クでデルタを行動させる。

・セットアッププロセス

〈タタラ:マイスター〉2

カット進行のプロット前に宣言。

3回分使用し、シーン中手札の上
限+3。

・メジャーアクション

〈交渉〉〈製作:プログラム〉〈超

スピード作業〉〈超テク〉

効果:達成値+4の精神攻撃。

・リアクション

〈※プレコーション〉

効果:あらゆる攻撃に対するリアク

ション。プロットを消費せず判定

でき、達成値+2。1シーン1回。

“ボン・サンス”デルタ

▼スタイル

カゲムシャ●、ニューロ=ニューロ◎

▼能力値

理性:8/14 感情:8/15

生命:2/6 外界:4/13

▼技能

交渉 1♠♣♥♦
 自我 1♠♣♥♦
 知覚 2♠♣♥♦
 電腦 4♠♣♥♦
 バックアップ 4♠♣♥♦
 有象無象 4♠♣♥♦
 ※WiM 2♠♣♥♦
 サポート 4♠♣♥♦
 ボルターガイスト 4♠♣♥♦
 ツェノンの逆理 4♠♣♥♦

▼ブランチ

カゲムシャ:ツレ 2

▼防具

・ギガンテス 電制:35

合計:防(殴/刺/斬/爆):8/6/7/9

▼サイバーウェア

・ギガンテス 電制:35

イントロン中のアクションランク

は常に4

・メンタルバースト 電制:20

【感情】+1(計算済み)

・マジックシールド 電制:21

イントロン中の精神ダメージ、

〈パワーサージ〉のダメージを1

シーンに10点まで吸収

・マジックワンド 電制:25

〈電腦〉+2

・ニューワールド 電制:15

〈フリップ・フロップ〉4レベル

を取得

▼トロン

・ギガンテス 電制:35

タップ

・ハイスピード 電制:12

〈電腦〉+1

・パディリンク

自分のプロットで相手に判定させ

る

▼解説

「あなたは幸せですか？」

プロジェクト・アレテーを遂行

するためにウィリアム・多聞が利
用している超AI。

今のところ宿主は指定していな
いが、当初の計画通りにプロジェ

クト・アレテーが実行されれば、
IANUSをインストールした人類す

べてをトループとして宿主に指定
する。

《電腦神》で“ボン・サンス”の正

体を隠している。もうひとつの

《電腦神》は防衛的に使用する。

▼行動指針

推奨プロット:♠♣♥♦

シーンにはフリップ・フロップ

で登場する。メジャーアクション

ではアタッカーを行動させ、達成

値を操作してサポートに回す。

・メジャーアクション

〈電腦〉〈サポート〉

効果:達成値+3。対象に達成値+4

したメジャーアクションを行なわ

せる。

・リアクション

〈電腦〉〈ボルターガイスト〉

効果:物理的なメジャーアクション

を失敗させる。達成値+3。

・判定の直後

〈バックアップ〉

効果:判定の達成値+4。〈カゲム

シャ:ツレ〉で1アクトに2回手札
から判定できる。

・判定の直後

〈ツェノンの逆理〉

効果:判定の達成値-4。

美門一清(みかど・かずぎよ)

▼スタイル

エグゼク●、ハイランダー○、マヤカシ

▼能力値

理性:7/15 感情:6/13

生命:1/6 外界:7/14

▼技能

交渉 3♣♠♥◇

自我 4♣♠♥◇

知覚 1♠♣♥◇

運命の輪 2♣♠♥◇

直属部署:カゲ 8♣♠♥◇

※封印記憶:獣の一族 2♣♠♥◇

天使の救済 4♣♠♥◇

バックアップメモリー 4♣♠♥◇

幻覚 6♣♠♥◇

消沈 4♣♠♥◇

▼プランチ

エグゼク:パーブルズ 2

▼ワークス

千早(軌道)

▼武器

・新式増幅杖 電制:20

攻撃:殴+6/2 射:至近

パサラ、マヤカシの特技の達成値+2、魔剣

▼防具

・白露 電制:25

1シーンに20点まで肉体ダメージ

吸収

合計:防(殴/刺/斬/爆):8/8/6/10

▼サイバーウェア

・アイアンウィルG 電制:18

〈自我〉+1、精神ダメージ1点軽

減

▼その他

・魔術回路 電制:-

パサラ・マヤカシ特技の達成値+1

▼解説

「私を減ぼす? 愚かなことを」

第四世代IANUSの権利を軌道千

早が握るために派遣された工作員。

あらゆる任務から生還できるよう

生存のための機能を調整された異

能者でもある。

クライマックスまでにデルタの

アドレスが隠匿されている場合、

《天罰》でアドレスを得る。

▼行動指針

推奨プロット:♠♣♥◇

10点以上の精神ダメージを受け

た場合、〈※封印記憶:獣の一族〉

の弱点によりリアクション不能と

なる。

・リアクション

〈自我〉〈消沈〉

物理、精神攻撃を失敗させる。

達成値+4。

・メジャーアクション

〈交渉〉〈幻覚〉

効果:精神攻撃。ダメージ+6、達成

値+3。

・判定の直後

〈エグゼク:パーブルズ〉2

効果:達成値+4。1アクト3回。

・肉体ダメージの適用直後

〈※封印記憶:獣の一族〉

効果:プロットを消費せず判定。[完

全死亡]以外の肉体ダメージを即座

に治癒する。

・精神ダメージの適用直後

〈バックアップメモリー〉

効果:プロットを消費せず判定。[精

神崩壊]以外の精神ダメージを即座

に治癒する。

・社会ダメージの適用直後

〈天使の救済〉

効果:[抹殺]以外の社会ダメージを

即座に治癒する。

釣島誠(つるしま・まこと)

▼スタイル

ヒルコ、カタナ、クグツ◎●

▼能力値

理性:9/12 感情:3/13

生命:9/15 外界:3/8

▼技能

運動 4♣♠♥◇

交渉 1♠♣♥◇

自我 2♣♠♥◇

知覚 2♣♠♥◇

白兵 4♣♠♥◇

咆吼 4♣♠♥◇

※ハヤブサ 2♣♠♥◇

鬼の爪 4♣♠♥◇

羅刹 2♣♠♥◇

忠誠 4♣♠♥◇

バンザイ 2♣♠♥◇

▼プランチ

ヒルコ:ニューロマンサー 2

▼ワークス

日本軍

▼武器

・生身 電制:30

攻撃:殴+16/10 射:至近

▼防具

・零式機械化兵 電制:30

・生体防具 電制:-

1シーンに10点まで肉体ダメージ

吸収

合計:防(殴/刺/斬/爆):16/7/11/21

▼サイバーウェア

・零式機械化兵 電制:30

アクションランクは常に4

・極星x7 電制:13

〈白兵〉の達成値+7

・プラストインパクトx7 電制:15

直後に行なう物理攻撃のダメージ

+5、重複可

・サーカムスタンスx7 電制:13

〈射撃〉の達成値+7

・サポートブレインx3 電制:20

【理性】+3(計算済み)

・御霊II 電制:30

【感情】【生命】の制御判定自動

成功、精神ダメージ4点減少、

〈自我〉+3

▼生体装備

・生体防具 電制:-

・ハ参式/鷹翼 電制:-

2段階移動可能

・無限 電制:-

クリンナッププロセスに仮死、完

全死亡以外の肉体ダメージとパ

ッドステータスを治癒

▼その他

・水鏡x3 電制:25

精神ダメージを常に21点軽減

▼解説

「暴力は三界に通じるってな」

伏雷部隊に所属する日本軍人。

本土からの命令で超AIの回収にあ

たっている。

クライマックスのカット進行ま

で残っていた場合、《突然変異》

は防衛的な神業をコピーする。

《完全偽装》は自分が倒された時

に日本軍の関与を抹消する。

▼行動指針

推奨プロット:♠♣♥◇

・セットアッププロセス

〈白兵〉〈※ハヤブサ〉〈鬼の

爪〉

効果:殴+16の物理攻撃。ダメージ

軽減技能でダメージを軽減できな

い。

・ダメージ算出時

〈咆吼〉

効果:物理、精神ダメージに+[判定

に使用したカードの数字]。

・ダメージ適用直前

〈忠誠〉

効果:精神、肉体ダメージ-4。

・肉体ダメージの適用直後

〈バンザイ〉

効果:ダメージの適用をクリンナ

ッププロセスまで遅らせる。